

研究課題(テーマ)	本学英語関連科目における 「習熟度別クラス」の実施		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	英語教育改革推進チーム 教養教育センター	英語教育改革ディレクター 准教授	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>今後のカリキュラム改革等に向けて、本学の英語関連科目については、令和5年度から「習熟度別クラス」の実施等を目指して、準備や検討などを行ってきたところである。実際、本学においては、より効果的に英語教育を学生に提供する体制作りなどが求められていると思われる。そこで、本プログラムを遂行することによって、英語関連科目の授業におけるクラス分けの基礎資料となる成績データを得ることとする。令和4年度における試験実施の概要については、以下に示す。</p> <p>【概要】 いずれの試験も富山県立大学 射水キャンパスの各教室にて実施</p> <p><工学部1年次生></p> <p>第1回目： 2022年4月5日(火曜日) 午前8時30分~10時30分 第2回目： 2022年12月9日(金曜日) 16時30分~18時00分 このプログラムでは、TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests を採用している。</p> <p>本プログラムの成果として、令和5年4月から、工学部2年次生が受講する「総合英語2・4」におけるクラス分けの実施を達成することができた。実際、英語関連科目の授業における「クラス分け」は、筆者が知る限りにおいて、本学では「初」となる試みであり、歴史的な転換点になると思われる。また、「多様性」が話題となる昨今において、複数学科の学生が同じクラスで学ぶことができる可能性がある環境を整えることができたことにも大きな意味があるのかもしれない。いずれにしても、本プログラムの目標を達成することができたと考え、加えて、学生の「英語力」向上や、教員と学生、学生と学生の間における相互交流など、本プログラムを通じてさまざまな教育効果が今後さらに期待されるであろう。</p> <p>なお、このプログラムに関連することとして、試験に関する分析結果などの詳細については、以下の論文にまとめている。</p> <p>山崎大介 (2023). 「大学1年次生の英語実力試験結果に関する縦断的・横断的分析」『富山県立大学紀要』第33巻, 48-56.</p>			
今後の展開			
<p>今後も、今回得られた結果を、クラス編成だけでなく、教材やプログラムなどの開発等にも役立てることができれば良いと考える。さらに英語教育改革を推し進めることが大いに期待される。</p>			